

ライラワークショップ報告

日時：2008年5月24日（土）
 場所：関西大学千里キャンパス第一学舎一号館A602教室、
 A302教室（グループ討議）
 ホスト：地区青少年活動委員会
 テーマ：どのように社会と「かかわる」のか
 ～職業人（ロータリアン）との対話から学ぶ～
 一部：クラブ青少年活動正副委員長会議 13:00～13:40
 二部：ライラワークショップ 13:45～16:00
 参加者：ロータリアン54名 大学教授他5名 学生40名

地区青少年活動委員会
吹田江坂RC

前委員長 **西上 博幸**

正副委員長会議は、芳賀G補佐よりご挨拶を頂き、続いて参加クラブを代表して豊中RC、八尾RC、枚方RCの3RCより実施された活動内容の紹介を頂きました。他クラブへ青少年活動の目的・必要性そして継続的事業の取り組み方などを伝えていただきました。

ライラワークショップは、参加ロータリアンおよび大学側から非常に高い評価を得たため、一昨年に引き続き関西大学キャンパスを会場とした大学生を交えての2回目の開催となりました。昨年度青少年活動プログラムのホストクラブを務めて頂きました少年少女ニコニコキャンプの池田RC、秋のライラの大阪梅田東RC、春のライラの大阪中之島RCそして地区青少年活動委員会により【求められている「かかわり」とは】のテーマでミニシンポジウムを開催し、青少年とのかかわり事例やホストクラブ・地区の開催前後の青少年に対する捉え方、そしてロータリアンが期待する青少年の未来像について発表を頂きました。

その後、学生2名とロータリアン2名の4名が一班となり、ロータリアンと学生が直接対話する機会を設け、ロータリアンにとっては次世代を担う若者の考え方や意見に直接ふれ、学生にとっては社会において自分たちは何を求められるように自己研鑽を積むべきかを汲み取ることができました。また、明日への一歩に力強い助言となったことと感じております。

最後になりましたが、素晴らしい施設をご提供いただきました関西大学様とお世話いただきました教授の皆様及び学生諸君そして、芳賀G補佐、三木G補佐、パネラーの各実行委員長様およびクラブ青少年活動正副委員長の皆様のご尽力により、素晴らしいライラワークショップが実施できましたこと心より感謝申し上げます。

